

活動計画書

■ 部・同好会・愛好会名 学生会執行部

■ 報告者名 5CN 小野亜加利 ■ 顧問名 高城秀之 印

■ 活動人数 21 名

■ 活動場所 福利センター 1F 学生会事務局

■ 一週間の校内活動 (標準的な場合について書いて下さい。)

| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|
| ○ or 空欄 | ○ | | ○ | | ○ | | |

(※活動している曜日に○を入れて下さい。)

■ 活動期間

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| ○ or 空欄 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

(※活動している月に○を入れて下さい。)

■ 今年度の目標

主な目標は2つあります。

1つ目は、クラブ活性化を目的として、毎年「活動計画書」と「活動報告書」を各クラブに提出してもらうことです。

2つ目は、学生会予算管理方法を見直して、誰が会計担当者になっても、ミスなくかつ、効率的な予算管理ができる方法に移行したいと思います。

■ 目標に対する具体的活動内容

「活動計画書」と「活動報告書」の提出は今年度からの導入です。年度の頭に各クラブにその年度の目標を挙げてもらうと同時に、年度の終わりには1年間の活動を見直して、次年度の活動に活かしてもらうことを期待しています。

学生会の予算管理は昨年度まで、今年の3月に卒業した学生会執行部の先輩が構築したシステムを使用してきました。このシステムはマイクロソフト Excel の高度な機能を多用しており、多くの計算や処理が自動化され、うまく利用すれば非常に効率的な処理ができる一方、学生会執行部のメンバーでも理解に時間がかかるような高度な機能が使われています。そのため、先輩が卒業した現在、このシステムを使いこなすのが難しくなっています。そこで、私達、現執行部のメンバーが容易に使いこなせる機能は残しつつ、高度な機能は単純な処理に置き換えていくとともに、それをドキュメント化し、学生会執行部の誰でもが簡単に使いこなせるようなシステムへの移行を行いたいと思います。